

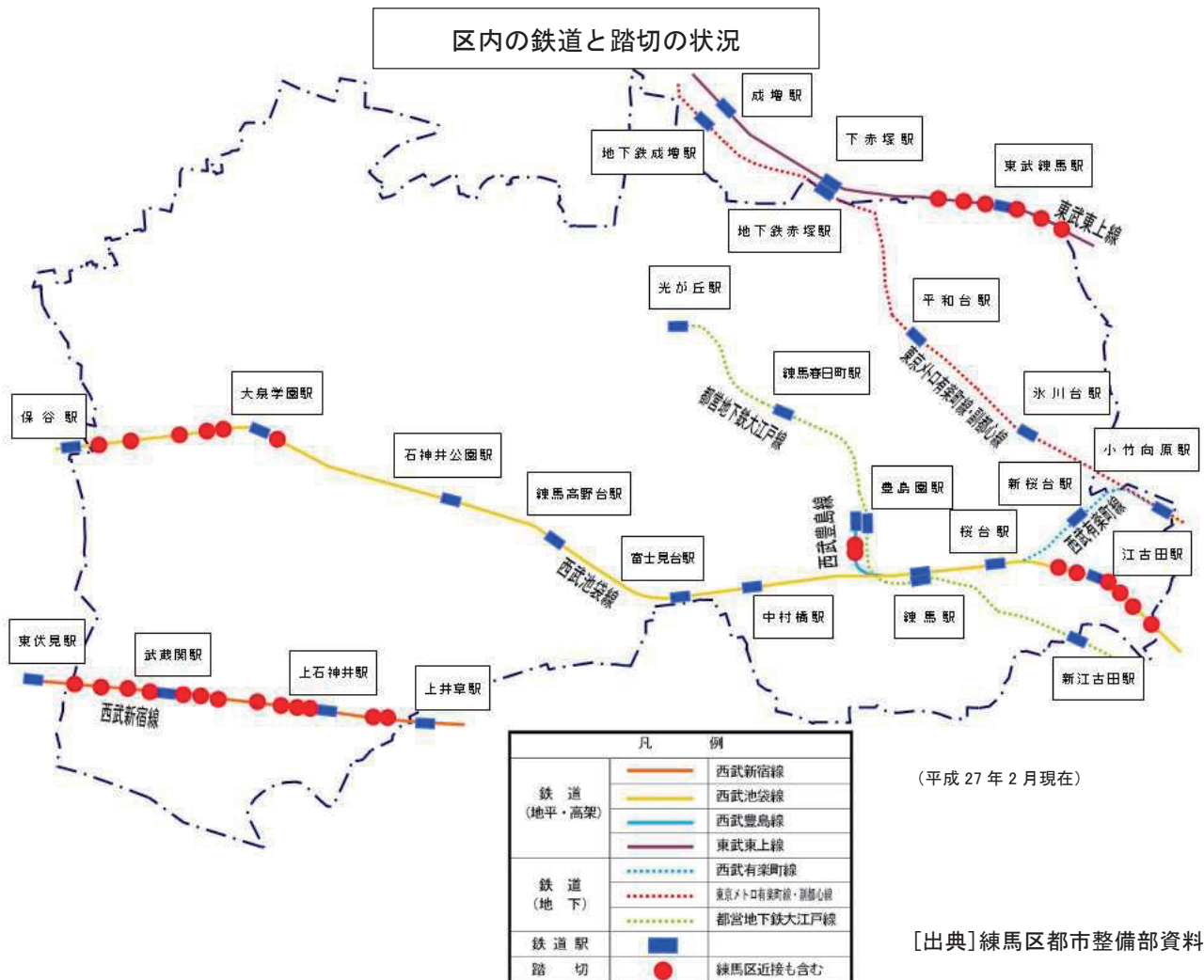
1-4 まちづくり

⑨ 都市特性・交通環境

～区全体としては都心などへのアクセスも飛躍的に向上したが、地域により課題も～

- 区内には、西武池袋線・豊島線・新宿線、東武東上線、東京メトロ有楽町線・副都心線、西武有楽町線、都営地下鉄大江戸線が運行し、都心などにアクセスする主要な公共交通機関になっています。区北西部には、最寄りの駅まで1キロメートル以上離れ、都心などへアクセスするには交通の不便な鉄道空白地域があります。
- 区内の都市計画道路の整備率は約49.9%であり、23区平均の約63.8%を下回っています。特に西部地域の整備率は約29.0%と低くなっています。
- 区内には、踏切が33か所あります。その中には遮断時間が長い踏切もあり、日常生活の移動の負担になっています。

近年は、交通網の充実により、区全体としては都心などへのアクセスも飛躍的に向上しました。しかし、地域によっては、鉄道空白地域の存在、道路整備の遅れによる交通渋滞、鉄道と道路が交差する踏切等の課題があります。都営地下鉄大江戸線の延伸や都市計画道路などインフラの整備を着実に進める必要があります。



鉄道空白地域と大江戸線延伸計画

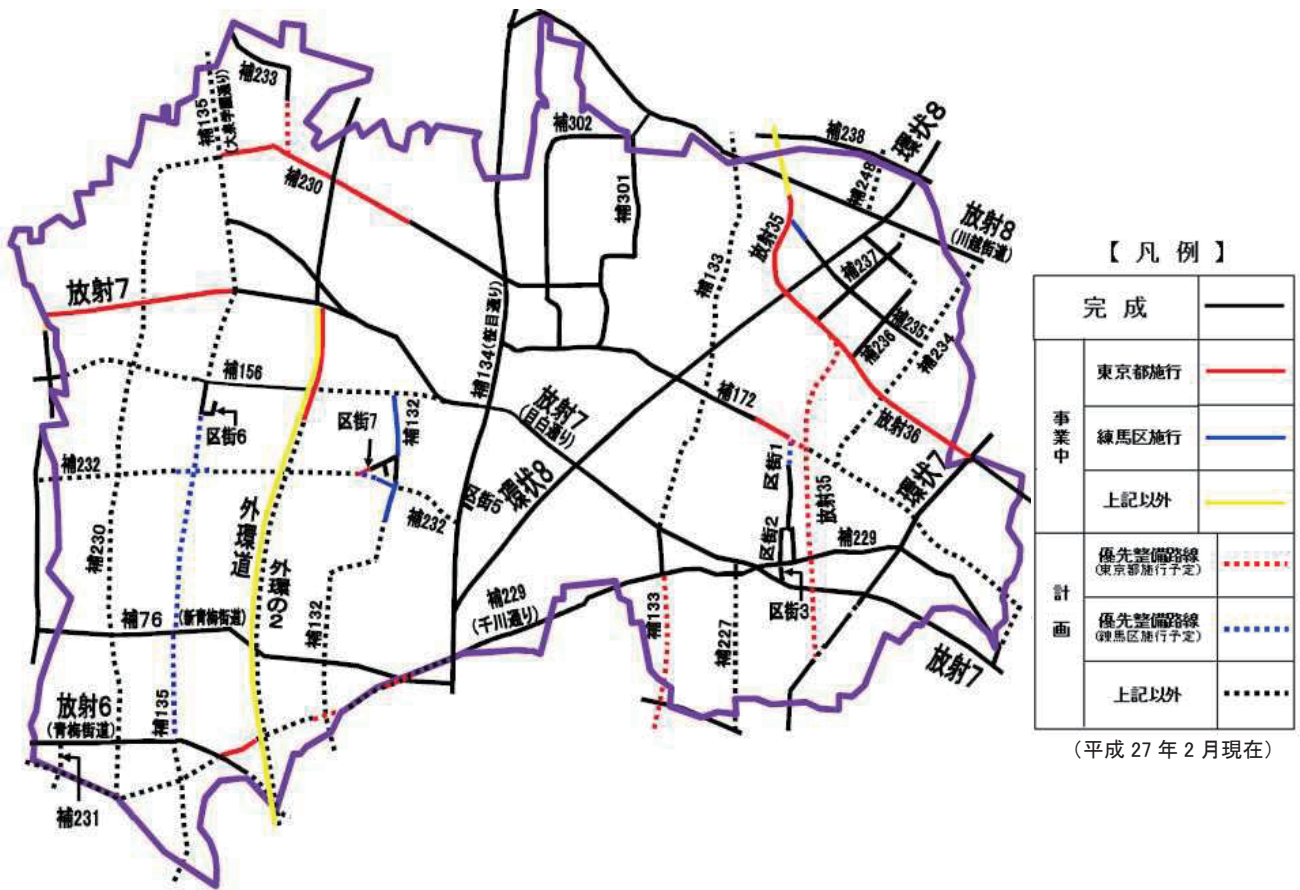


[出典]練馬区都市整備部資料

都市計画道路の整備状況

	計画延長 (km)	完成延長 (km)	事業中延長 (km)	未着手延長 (km)	整備率 (%)	備考
区 部	1,764	1,127	140	496	63.8	平成 25 年 3 月 31 日現在
練馬区	108.3	54.0	10.7	43.6	49.9	平成 26 年 3 月 31 日現在
	東部	58.4	39.5	3.9	67.7	
	西部	50.0	14.5	6.8	29.0	
多 摩	1,428	842	122	463	58.9	平成 25 年 3 月 31 日現在

(注) 各項目の合計は、端数処理のため一致しないところもあります。



(平成 27 年 2 月現在)

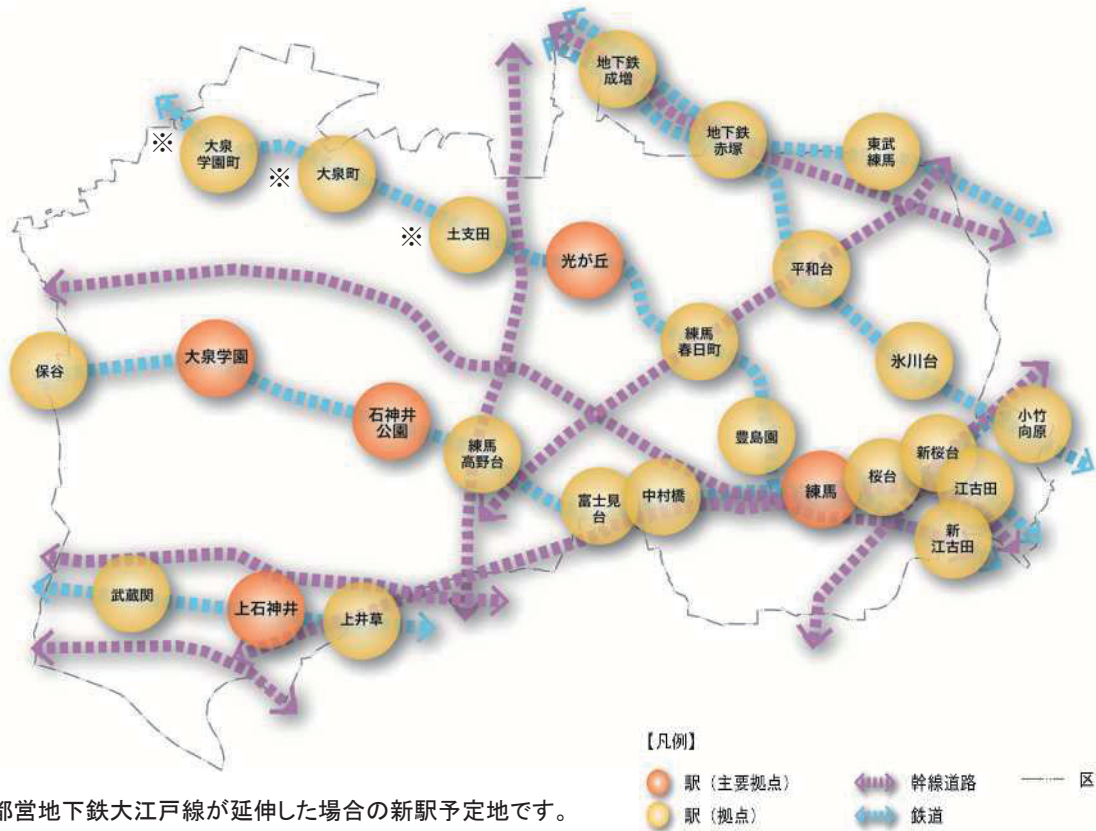
優先整備路線： 都と特別区が平成 16 年に策定した、「区部における都市計画道路の整備方針」の中で位置付けられた、優先的に整備すべき路線。計画期間は平成 27 年度まで。

[出典]練馬区都市整備部資料

- 現在、区内および隣接の23駅のうち交通広場が整備されている駅は、練馬駅、光が丘駅、練馬高野台駅、石神井公園駅、大泉学園駅、保谷駅、成増駅の7駅です。

駅は、都心などへ向かう多くの通勤者、通学者に利用され、駅周辺は日常生活を支える拠点になっています。拠点には、便利で賑わいのある商業環境など、生活・文化の中心としての機能のほか、交通広場やアクセス道路を備えた交通拠点機能の向上が必要です。

区内および隣接の各駅



(平成26年12月現在)

区内および隣接している駅の交通広場整備状況

【都市計画法に基づく都市施設（大泉学園駅北口を除く）】

駅名	交通広場面積	駅名	交通広場面積
練馬	北口約7,400㎡(うち、嵩上式約2,700㎡)	光が丘	約3,600㎡
練馬高野台	北口約2,000㎡	保谷(西東京市)	北口約3,300㎡ 南口約4,200㎡(うち、嵩上式約1,200㎡)
石神井公園	北口約2,900㎡ 南口約4,400㎡	成増(板橋区)	北口約4,100㎡ 南口約2,620㎡
大泉学園	北口約1,500㎡(うち、嵩上式約650㎡) ※1 南口約5,300㎡(うち、嵩上式約1,400㎡)	上石神井	南北一体整備(計画)約5,100㎡ ※2

※1 地区計画に定める地区施設を市街地再開発事業により整備

※2 都市計画決定済、今後整備予定

[出典]練馬区都市整備部資料